

平成27年3月27日

3月例会行事報告書

例会幹事 永田

平成26年度 通常総会・3月例会

I 午前の部 通常総会

日時：平成27年3月26日（木）9:30～12:00 天候：晴れ

場所： ぷらごこむ1 3階 フリールーム

参加者 58名

総会開始30分前に集合し、机・椅子で会場設営をして、定刻の10時に通常総会を開始しました。多田会長の挨拶に続き、平成26年度の活動報告、会計担当の沼田幹事、特別会計担当の木下幹事から26年度の会計報告が其々あり、26年度の収支報告が承認されました。引き続き、27年度の予算について説明が有り、承認されました。

27年度運営について、会長より説明が有り、新任幹事の紹介、年間行事計画の説明及び、担当専任幹事から運営方針の説明が有りました。最後に会則の改定について、詳しく説明が有り、承認されました。

その後、会場の後片付け、掃除をして11時45分に終了。

(議事録は別紙)



総会会場

Ⅱ 午後の部 「大本山 中山寺を訪問、村主管長の法話を聴く」

日 時：平成27年3月26日（木）13:15～15:30 天候：晴れ

場 所： 中山寺

講話者： 真言宗中山寺派管長 村主 康瑞様

案 内： 真言宗中山寺派総務次長 足立 泰教様 他1名

参加者 52名

中山寺院内の紫雲閣前に集合して、午後1時15分に講堂へ入室し、1時30分から管長の法話が始まりました。話の内容は「人間の死」について、「命が続いて行く証」、「宗教とはラッキョの芯である」、「神と仏の違い」、キリスト教の旧約・新約やイスラム教との比較等、宗教について例え話を交えてお話をして頂いたので、興味深く聴かせて頂きました。

命が続いている証とし、日頃から良い行ないをするように諭されて、2時20分に法話が終わりました。



法話の村主管長

2時30分から2班に分かれて、紫雲閣1階の「伽藍古図」による中山寺の略縁起の説明や地下にある涅槃図の説明をして頂き、境内に出て五百羅漢堂、本堂の再建の歴史について、堂内では御本尊の十一面観世音菩薩や天井の飾り絵、西国三十三観音霊場の伝説等についても説明が有りました。阿弥陀堂、鐘楼堂等の案内・説明もして頂き、3時30分に集合写真を撮って解散しました。

今年度の例会行事は無事に終了しました。皆様、有難うございました。



伽藍古図の説明



涅槃図



本堂



屋根の鯨銚 (ハスの花)



集合写真